

三二

大正七年七月

マニラ
コレア丸
阿片密務出張所
伊

外務省

大正十年七月十四日 總理課

公第一七七號

大正十年六月二十日

大正十年七月拾八日 記録係 工部 接受

在マニラ

總領事

外務大臣伯爵内田康哉殿

阿片密輸入ニ關スル件

本年二月二十四日東洋汽船會社船こしあ丸
給仕天野千嘉造ナル者阿片密輸入者トシテ
當地藤川旅館番頭の野哲四郎ト共ニ稅
關監視部ノ抑留スル所トナリ藤川旅館主及
阿片館主ノ保護ノ下ニ保釋ヲ許サレタル事
件アリ當時阿片館主一同當館ニ出頭ヲ求メ

在マニラ總領事館

取調タル前記天野ノ乗港於マニラ人樹某
ヨリ靴ヲマニラ迄居方依頼サレ船客横田ニ
ノ年荷物中ニ混シ揚陸シ的野ニ横田ノ依頼
ヲ受ケ荷物受取ニ出頭シタル迄ニシテ何レモ
片ニハ何等關係ナキ旨申立タルの野ニ藤川
天野ノ陳述ニ多ク矛盾アリ且ツ天
野ノ申立ニ條理一貫セズ言外ニ自ラ其
謀密輸入ヲ企テタルナキヲ疑ハレモ一有之候處
甚後當地檢査第一審ニテ天野の野及藤
川旅館ホーイ杉本ノ三名ハ同罪ニテ二年ノ懲
役三百ポンドノ罰金ニ處セラレ候
然レハ今回在監天野ヨリ書面ヲ以テ裏ニ當館
ニテ陳述シタル嘘偽ノ申立ニテ藤川ノ依頼

古

22167

ヲ受テ果テ負ヒタルニ不遇然ニ犯人の野村ト
 保釋ト上控訴セルニ自今用シテハ保釋ト爲
 ソ然ルニ年交セル百二十ヘン及原價貳百五拾
 圓ノ金時計又前田ノ保釋ト年數料及關稅館
 ノ食料トシテ差押ラレ總テ前約ヲ履行セザルニ
 ナラズ自今ニ販賣ヲ勸告スル等言語同断ニ付
 宜シク救助アリタキ由申出タルニ由リ館員ヲ監
 獄ニ流シ天野ヲ取調タルニ該阿片の野村
 兄長姉縣南松浦郡福江町五島の野村
 一即ヨリ横田ニシテ此の野村四郎宛送付
 越タムニシテ松田四郎が税関ニ抑留セラレタ
 後天野ノ孫川ノ後頼ヲ受テ嘆傷ノ中ニ立テ
 成シタルニ過ヤズ事實ノ犯人の野村兄弟ニシテ
 在マニテ總領事館
 共犯ノ如何ハ之ヲ知ラザル事係ノニ奥相ノ孫川
 横田多助ノ爾レニ等々知事ノ居ルニト信スルヲ以テ
 自今直ニ控訴シタルヲ以テ以テ回控訴審ニ於テハ
 事實ヲ同陳スル覺悟ナリト申立候
 就テ的野村一即ニ就テ詳細取調ト上相
 當面指問トナリ結果海田報煩度尙的野
 村四郎ハ素船員ニシテ當地ニ脱船シ最モ阿
 中松達反ニシテ二年一日ノ懲役ト罰金ニ百ヘンニ處
 セラレ服没シタルト有之由ニテ後孫川ノ産傭セラ
 レ昨年三月當館ノ在留証明ヲ得テ一旦歸國シ
 昨年末再渡航シ再同人方ニ産傭セラレ前後通
 じテ約四年働ハレ居リ杉本ノ孫川ニ二年余
 産傭セラレ横田多助ノ孫川ノ一年餘ノ知已ナル

由ニ有之申件關係者本籍現住所ハ左ノ通
リ有之候 敬具

記

本籍埼玉縣北埼玉郡太田村大字桑間四
十二番地 戸主桑吉ニ男旧ニルル結仕
現住所 マニラ市ロンドーサ街一〇六

天野 千嘉造
明治十四年八月一日

本籍 長門縣南松浦郡福江町五島
戸主江一平 弟
現住所 マニラ市ロンドーサ街一〇六番川旅館
番川旅館番頭

在マニラ總領事館

的野 哲四郎
明治二十六年七月二十日生

本籍 熊本縣下益城郡豊野村葉林五九
戸主平八 男
現住所 マニラ市ロンドーサ街一〇六 番川旅館
番川旅館番頭

杉中 幸一郎
明治三十年九月九日

本籍 山口縣玖珂郡森河村百三十七番地
戸主村次 男 四男
現住所 マニラ市ロンドーサ街一〇六

旅館主

香川 第三

昭和十三年二月十八日

本籍 山口縣玖珂郡岩國町大字錦見三三三

戸主

現住所 マニラ市ノースサ街一〇番地花館

横田 多助

本籍 現住所 同 多助

横田 ユリ

昭和十三年三月三十日

本籍 香川第三郡栗田村大字西栗田

在マニラ総領事館

一八八 ト主情者(行方不明者)妻

現住所 マニラ市アルビオン街一〇八九

旅館主

横田 いし

昭和十三年四月二十日

次官 亞細亞 通商 條約 人情 會計 文書 平和條約

第 1 2 3 7 号

文書課長(宛)

公 信 案

大正十年七月十六日接覽

文書課發送

大正十年七月十八日(發送)

淨書

正校(原稿)

(淨書)

別紙

(甲號用紙)

主 管 通商局長閣下 任 主

(起草大正十年七月十五日)

大正十年七月十八日附 附屬書 通

機密 第一七八號

大正十年七月十八日附

附屬書 通

受信 人名

阿片密輸出入関係

發信 人名

阿片密輸出入関係

件名

阿片密輸出入関係

綴 込 名

密輸出入関係

本年二月二十四日マニラニ在テ邦人が阿片密輸入ヲ企メテタル事件ニ關シ、同地駐在米榷總領事ヨリ別紙寫ノ通り、通商省ニ報告セラル。同地駐在米榷總領事ヨリ別紙寫ノ通り、通商省ニ報告セラル。

公 信 案

外 務 省

右ニ依リ、長野縣南松浦郡福江町五島在任ノ的野總一郎氏ニ本件ニ關シテ本邦ヨリ阿片ヲ密輸出シタル形跡有之、前記事實ニ對シテ、本邦政府ニ對シテ、帝國官憲ニ對シテ、前記マニラ裁判所ノ裁判ニ關係セシ、重刑ニ付テハ、委曲別紙ニテ示シ、知照セラル。前記事實、有之、其ノ對シテ、何カノ形、固不相容度此段申進居也。

別紙

大正十年七月十八日マニラ來信公第一七七号 寫添附



晚2243'7續

大正拾年七月拾八日接受
商通監課

有附屬物

公竹第 一九九

大正十一年七月

在マニラ

大正十年七月廿一日 壹日記錄第二部接受

總領事

外務大臣 伯爵 內田康哉殿

阿片密輸入三噸五件。

本件三聯シテ、客月二十日附公笈第一七七號ヲ
以テ申進置候處、今由在監天野牛若造ヨリ
別紙書翰ヲの野德一郎へ轉送方願出候
ニ付、可然御取計相成度、厚添附此段申
進候、尚の野哲四郎戶籍謄本一通御送付
相成度候、敬具

在マニラ總領事館

大正十年七月廿一日 記録第二部 接受

傳 (源教部)

冠省君當マラ御舎旁哲四郎氏へ御持送、品物ヲラス
税關署ニ殺覺シ御持送ノ客人ト哲四郎氏ト共ニ拘請セ
ラレ此罪跡ヲ陰謀スル為ニ私ニ荷シテ事ヲ証言シ罪
ヲ一身ニ引受ケ而シテ後續金放釋ヲ以テ日本歸リヤセ
馬尼刺在位ノ継男者ハ無難ニシテ清キハト藤川氏ガ
校橋迄来リテノ相談其時私陰ニ藤川氏ハ富市邦人同
ニ名ヲ為ス人タルヲ常ニ聞ケ覺ヘ且又婦人ノ初旅ヲ前
ニ見テ船員ノ私ニ利能素直ニ尚君等兄弟ノ友階
ニモ觀見レバ一ニ許絶ニ出来ス即チ義ニ事ヲ差セバ
南カ立ツ情ニ事ヲ差レ歸ル事アリノ辭ニ親シク金ナ
ニ年差シ罪惡ノ利ニ九月二日哲四郎氏ト同居ノ
杉本算ト和ガニ年ト罪金三百圓ノ刑ヲ付シ渡サレ

在外公館

其ノ致度他ノシカハ殺放釋ヲ願ヒタリシ利夫此
ノ儘ニ四通去リ今ヨリ及下ニ何故ニ殺覺當時ノ事
氏ノ言ヲ履行スル事モナク來ヘ九月三十日金弟
哲四郎氏ハ年護士ヲ伴ヒ隨分放釋ノ金算ニ并
走為シタガ到任田詰見立不故ニ常ニ一控訴ヲ取消
シ刑ニ服シテ莫レト以テ控訴狀ハ取消捺印ヲ請求
スルニテアル尚モ詰請ヲ續ケ私カ當テ船友ノ融通シ
テ莫レタ六百圓田ノ現金ト原價共百廿四圓一時計
ヲ藤川氏ヘ預ケテ四週ヲ金ヲ以テ關旅店宿料ガ有
田ト裁判前ノ假放釋料ニ三百五十圓ヲ使テ御金
弟哲四郎氏ハ仕村金ナリ如シ人同トシテ為ス回數
行爲敢テ仕向和ニ古ハシムレバ恩ヲ訖ニ返サレ何
ニ一ツト約束ニ履行ヲ受ス今更ニ遺憾ニ思フ

憚求刑後今日迄利五十有日ヲ未決監ニ過ズ此
ノ苦痛ハ引受ケカ因果トシテモ物質的精神的ノ兩
方面ニ亘リ直接間接之損害ヤ大ナリ故ニ此場合一先
ヅ最所申シ通放釋ハ絶對ニ哲四郎氏相才
ニ何時迄侍ワモ右ノ次第ヨリ察シ到在駄目故
五月廿一日友交ヲ絶交シ直ニ六月八日付當領事
館宛テ事狀ハ更想ヲ振打シテ嘆願書ヲ捧
呈スルノ人無キニ要感ナカラ立刻ラシムル金
ヲ哲四郎氏ノ自腐心起リ万感盡キテ此始末
依テ君ヘ當マシラノ事實ハ成行ト弟哲四郎
氏ノ仕打ノ數トヲ述ベ尚哲四郎氏ヨリ最早
事件ノ如何ハ通知アリシモノト察スレバ何ニカノ情
息モ寧リ和君本心ニ承リタイ計存スル事
ハ用嘆願以下君ヘ知セタルモノト断定スルノ外ナリ
故ニ和自身直接ノ中紙ニテハ千值數ニ多ク
ルヲ憂ヒ當總領事館ヲ通シテ正義ニ違ハヤ
總領事官閣下ノ証言ヲ請願シムル次第ナレバ
以下ノ金額即チ放釋ノ件君如何ニ御取計
リ被下ルカ君意細ニ依リ相當ノ計置ヲ敢
テ取ルノ外ナク和要ニ賜希貴任侍ワ早ハ
六月廿七

在外公館

御野德一郎殿

コレヤル製他費
天路千石

總領事館
總領事官栗栖三郎殿

再度貴官ノ精念ヲ悩マシテ宿ノ至ニ存スル次第ナ
 レ共實リ嘆服ノ趣意ヲ徹底セタ且又公平進
 行ヲ計ル為メ事件前主タル御徳一郎氏へ
 微意發覺以來展末要々ヲ取摘テ通知シ度
 存シ全ク片哲四郎氏ノ仕打カ餘リ陰險ニ即ツ要
 刺ニ遇キ何ニ知ラザン杉中氏迄カ此ノ破目トハ全ク
 哲四郎氏ノ常テノ要評且不信用ト自腐心
 ニ起ル外ナリ以上ノ微意ヲ貴官ヲ通シテ先
 徳一郎氏ノ懸念ナキ様尚意御向テ直シ中
 休ノ連カニ差着斗ン為メ拙者貴官ヲ通シ御
 高見ヲ頂キ然可ク不省微意徹底ヲ是方
 ノ成得ス様以上ヲ申述諸願如斯御座候
 不備

在外公館

六月廿七

不省千々出

No 18312. Japan 27/1921. Bureau of Prisons.

大 次 亞 細 歐 通 條 情 人 會 文
臣 官 亞 米 商 約 計 平 和 條 約

第 7 項
第 2 項

文書課長 松原

公 信 案

文書課發達 大正拾年七月廿二日接受

主 管 通商局長

主 任 (起草大正 拾年七月三十一日) 吉野

機 密 普通 第一 號

大正 十 年 七 月 二 日 附

附屬書 通

受 信 人 名

司法次官

發 信 人 名

外務次官

件 名

阿片密輸出ニ関スル件

名 込 綴

公 信 案

外 務 省

本件ニ関シ本月十八日附通照送第一七八号ヲ以テ申述
置居処今般重ニテ在リヨリ未柄總領事ヨリ別紙寫
及附片書來送附越房ニ付テハ趣申越房ニ付テハ同
寫ニ添附セリマニラ照獄用紙ヲ以テセル天野千嘉造
宛の野德一郎宛書柬ハ事實中調査ノ際可然而取
計相預ニ添付別紙ニ添付シ知相我成此段申述居也
迄而別紙書柬中野德一郎ノ戸籍少帳本
送附ノ候ハ当省ニ於テ取計置居年為念申添居

別紙

七月二日付來信公第一九九号寫
及青色紙附片物甚怪添附ノスト

附屬書類添付

大正拾年八月拾參日接
長崎縣知事

郵政課



第25125番

大正十年一月拾日
十地力一九リ三子

長崎縣知事赤星典太



外務省通商局長

的野哲四郎戸籍謄本送方は
七月廿三日通監普第三五九二号ヲ以テ
御照會相成候標記、別紙及山王送
候也

長崎縣

大 臣 次 官 亞 細 亞 通 商 條 約 情 報 人 事 會 計 文 書 平 和 條 約

公 信 案

文書課長 大正拾年八月拾七日發

文書課發送 大正拾年八月拾八日發送

淨書 正(原稿) 附屬書 一通

主 管 通商局長 主 任 大正十年八月十六日付

普通 第四五號 大正十年八月十八日附 附屬書 一通

受信 在馬尼刺 人名 素栖總領事 發信 人名 内田外務大臣

件名 的野哲四郎戸籍謄本 送附一件 綴 密輸出入関係

所片密邦人、所片密輸入、關シ七月一日附公
年一九九号當信ヲ以テ所票請ノ趣、其節早速
南便也、同信省ニ摩轉達、致置候処、右貴信

未段所載ノ標記、件 的野哲四郎戸籍謄本
取取、右茲ニ及所送附候也

長崎島知事素栖人、自下附十地、
一九〇三号附所書、其候所附、

附屬書類添附

大正十年九月七日 變

刑部省 第四十二號

大正十年九月拾日

受27812號

大正十年九月六日

司法省刑事局長林頼三郎

司法省 刑事局長印

外務省通商局長田中都吉殿

阿片密輸出ニ関スル件回答

七月十八日附通監普通第一七八號ヲ以テ御照會ノ趣了承本件ニ関シ周密調査方申遣置候處今般別紙ノ通所轄檢事心ヨリ回答有之候條右ニテ委曲御了知相成度候

追而御用済ノ上ハ速ニ返戻有之度候

司法省

古

大 次 亞 歐 通 條 情 人 會 文 平
臣 官 亞 米 商 約 報 事 計 書 和
條 約

237

公 信 案

文書課長

大正拾年九月拾貳日接受

(甲) 號用紙

文書課發送

大正拾年九月拾貳日發送済

淨書

(甲)

正(原稿)

(甲)

(淨書)

(註)

主 管

通商局長

主 任

(起算大正十年九月十二日古案)

機密

普通 第四九號

大正十年九月十二日附

附屬書

別紙

通

受信

司法省

人名

發信

田中通商局長

人名

林刑事局長

人名

件名 阿片密輸省調書返戻件

込

密輸雜件

名

大正拾年九月拾貳日記録第二部接

九月六日附刑事第五四七二号貴信ヲ以テ而回示ノ趣

承右ニ関シ別紙長崎地方裁判所檢事局ノ調書一通當方

ト用濟相續中越ノ通リ右迄及而返送

公 信 案

外 務 省

長年所査取相成度候也

別紙

九月六日附司法省未位刑事第五四七二号附房
書白書其係添附ノ下

寫

司法省 刑事第五四七二號

大正十年九月六日

司法省刑事局長 林 賴三郎

外務省通商局長 田 中都吉 殿

大正拾年九月拾日記錄第二部接書

阿片密輸出ニ關スル件回答

七月十八日附通監普通第一七八號ヲ以テ御照會ノ趣了承本件ニ關シ
周密調査方申置候處今般別紙ノ通所轉檢事正ヨリ回答有之候條右
ニテ委曲御了知相成度候

追而御用濟ノ上ハ速ニ返戻有之度候

(已 號用紙)

外務省

寫

甲二六六

大正十年八月二十六日

長崎地方裁判所檢事正 松田 協 輔

司法省刑事局長 林 賴三郎 殿

阿片密輸出嫌疑ニ關スル件

回答

長崎縣南松浦郡福江町

七百十一番地平民木炭商

的 野 德一郎

常三十八年

外務省

(已 號用紙)

(已 號 用 紙)

客月廿三日附御照會相成候右の野德一郎ニ係ル首題ノ件取調ノ結果ニ依レハ德一郎ハ大正八年三月中迄東洋汽船株式會社サイベリヤ丸甲板ボーイノ職ニ在リ其後本籍地ナル肩書福江町ニ歸住シ木炭商ノ傍ラ本年三月以降ハ長崎上海間ヲ往復シテ表面骨董紫檀細工品ノ輸入販賣ニ從事シ主トシテ十餘年間ノ海員生活中ニ蓄積シタリト稱スル資産約一萬二三千圓ヲ所有シ現ニ中流ノ生活ヲ營ミ居ル者ニシテ今回マニラニ於テ阿片密輸入ノ罪ニ依リ同地官憲ニ檢舉セラレタル野哲四郎ハ其實弟、又同上ニ關シ在マニラ總領事ニ救助方ヲ懇ヘ出テタル天野千嘉造トハ數年前東洋汽船會社外國航路船ニ乗組中ノ同僚ボーイトシテ相識ノ間柄ナリト謂フ然ルニ右天野千嘉造ヨリ今回總領事館員ニ陳情シタル德一郎哲四郎兄弟ノ阿片密輸入ノ件ニ付德

外 務 省

(已 號 用 紙)

一郎ノ辯明スル所ニ依レハ同人ハ大正二年頃以降同船ノ支那人ボーイヨリ米國方面ニ對スル「モルヒネ」密輸入ノコトヲ知得シ當時之レニ出資シテ多少ノ利益分配ヲ受ケタル經驗アリ又大正六年二月中ニハ東洋汽船コレア丸ニ乗組中マニラニ於テ「モルヒネ」密輸入ノ嫌疑ニテ同地官憲ノ檢舉ニ遭ヒ拘禁ノ身トナリタルモ裁判ノ結果無罪ト爲リ其後一切此事ニ干係セサリシニ大正八年三月船員生活ヲ罷メ幾何モ無ク「マニラ」ニ哲四郎ヲ訪ヒタル際同人ノ勸誘ヲ受ケ之レト謬合ノ結果「マニラ」税關監視ノ嚴重ナラサルニ乘シテ同地ニ「モルヒネ」密輸入ノ計畫ヲ立テ實行ノ手筈ヲ定メ歸朝ノ上同年中前後四回ニ横濱在住支那人某及東京市日本橋區本町三丁目藥種商加藤四郎ヨリ買入レタル英國スミス會社製品、米國ウエートマン會社製品

外 務 省

(已 號 用 紙)

及大阪製印等取交セ二十鐘二十一封度余ノ「モルヒネ」ヲ横濱、
神戸、長崎各地ヨリ郵船伏見丸、大阪商船アラビヤ丸、同アフリカ
丸及東洋汽船サイベリヤ丸等都度ノ船便ニ依リ「マニラ」ニ向ケ密
輸ヲ遂ケタルカ其方法ハ醬油空樽ノ底ニ密輸品ヲ隠匿シ其上ニ澤庵
漬ヲ敷並ヘ纏括ケト爲シテ一見澤庵漬ノ如ク荷造シ白人モ士人モ一
様ニ澤庵ノ臭氣ニ解易シ鼻ヲ掩ウテ其儘通關セシムルカ如キ奸策ヲ
講シタリト謂フ而シテ右密輸セル「モルヒネ」ハ哲四郎ニ於テ「マ
ニラ」「サンバロク」ノ娼家附近ノ支那人ニ賣渡シ都度徳一郎ニ送
金シ其間ニ奇利ヲ獲得シ居タル者ニシテ尋テ大正九年中ハ哲四郎カ
病氣保養ノ爲メ福江町ニ歸住シ居タル爲メ彼地トノ連絡無カリシヨ
リ一時中絶シ居タル處哲四郎カ同年十二月再ヒ「マニラ」ニ渡航ス

外 務 省

(已 號 用 紙)

ルヤ本年二月中書信ヲ以テ復タ「モルヒネ」ノ密送方ヲ促シ來リシ
ヨリ直ニ前記加藤四郎ニ金千四百圓ヲ送金シテ五封度ノ「モルヒネ」
ヲ長崎驛留メ貴重品扱ニテ送付ヲ受ケ同月十七日之ヲ受取り哲四郎
ニ送付ス可キ同人ノ夏服四着入ノ手提鞆中ニ之ヲ隠匿シ汽船宿ヲ物
色シテ長崎市大波止小林旅館ニ於テ「マニラ」藤川旅館行ノ横田ユ
リト會見シ情ヲ明カサステ右「モルヒネ」入ノ鞆ヲ同人ニ托シ哲
四郎ノ許ニ傳達方ヲ依頼シユリハ同月十八日長崎出帆ノコレア丸ニ
テ「マニラ」ニ向ケ出發シタルニ其後同年四月中哲四郎ヨリ「損シ
タ千圓送レ」トノ電報ニ接シ引續キ四回情報ニ接シ初メテ藝ニ電送
セル金千圓ノ用途ハ裁判費用ナリシトノ消息ヲ明カニスルト共ニ彼
地ノ事件ノ經過ヲ知ルニ及ヒタリト謂フ右哲四郎ヨリノ七月十五日

外 務 省

(已 読 用 紙)

附第四回ノ信書（發信人藤川兼三名義）ハ德一郎ヨリ福江區裁判所
檢事局ニ提出シ居リテ之レニ依レハ「天野ニ關スル件ハ其後不問ト
相成リ候間御心配ナク」云々トアリ其餘ノ情報ト併セテ德一郎ハ爾
來秋カニ該事件ノ經過ニ付樂觀シ居タルモノ、如ク而シテ德一郎ノ
右辯明ニ依レハ同人等ハ最初ヨリ阿片ノ密輸ニハ何等干係無ク「マ
ニラ」ニ於テ檢舉セラレタル事件ノ阿片其ノモノハ天野千嘉造カ船
中ニテ横田ユリノ携帯荷物中ニ密カニ隠匿シテ陸揚ケシタルモノニ
相違無ク「マニラ」當局ノ忌諱ニ觸レタル密輸品カ果シテ「モルヒ
ネ」ニアラスシテ阿片ナリトセハ之レニ付テハ全然無干係ナリト謂
フニ歸シ德一郎ハ終始右陳辯ヲ主持シテ動カス且ツ本人ヨリ所管檢
事局ニ提出セル書信手帖類ヲ査閲スルモ前記「モルヒネ」ニ關スル

外 務 省

(已 読 用 紙)

記載間々散見セルニ反シ從來同人カ阿片ヲ取扱ヒ居タリト確認セラ
ル可キ何等徵憑ヲ發見スルニ至ラス差當リ阿片煙ニ關スル犯行ノ事
ハ不明ナルヲ以テ尙充分容疑ノ餘地アル人物トハ思料セラレ候ヘト
モ何分「マニラ」方面ニ於ケル各關係者ヲ審訊スルニアラサレハ此
以上ノ真相ハ捕捉シ難キ案件ト認メラレ候ニ付右ニ御了承有之度追
テ客月二十六日附轉送相成候天野千嘉造發の野德一郎宛書翰ハ所管
檢事局ヨリ本人ニ交付シ直候條併セテ御了承相成度候

外 務 省

大 次 官 臣
亞 細 亞 米 商 約 報 事 計 書
歐 通 條 人 情 會 文
平 和 條 約
要 再 回

公 信 案

文書課長 大正十年九月八日 接受

別紙

(甲號用紙)

文書課發送 大正拾年九月九日 發送齊 淨書 (紫田) 正校 (原稿) (淨書)

主 管 通 長 主 任 (起草大正十年九月七日) 古 繁

機 密 普 通 第 五 三 號 大正十年九月九日 附 屬 書 一 通

受信 在 マニラ 人名 末 栖 總 領 事 發 信 人名 内 田 外 務 大 臣

件 名 阿 片 密 輸 關 係 件 綴 込 密 輸 雜 件 大正拾年九月拾日 記錄第二部發賣

本件ニ関シテハ八月十八日附通監普通第四五号ヲ以テ
的野哲四郎ノ戸籍謄本及送附置候處今般司法省ヨリ
別殘寫ノ通リ的野德一郎ニ關スル取調書送附越候ニ
公 信 案 外 務 省

付右茲ニ及所送附候間 委曲別紙ニテ即了知相成度
此段申進候也

別 殘 寫 附 附 九月六日附司法省來信刊事第五四七号
寫 添 附 ノ 事 在 寫 八 部 一 部 ヲ 取 リ 本 案 米 二 添 附 シ 置 カ レ 度

受33801號

大正拾年七月貳日 接獲 總監理課

公第三三三號

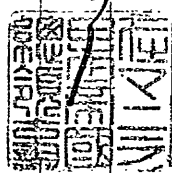
大正十年十月十三日

在マニラ

總領事

外務大臣伯爵内田康哉殿

手抽



阿片密輸入ニ關スル件

大正十年七月七日 記録第二部接受

本件ニ關シテハ容月九日附通監普通第五三
號ヲ以テ野德一郎取調ノ結果ヲ御田報
ニ接シ候處德一郎檢舉ノ結果大要同人
申立ト同様弟哲四郎ヨリ當館ニ自白シ且又
天野千嘉造ハ當該阿片ハ香港ニ於テ一罐
四十五圓ノモノ十八罐購入シ來リタルガ其ノ揚陸ハ

在マニラ總領事館

的野哲四郎ニ於テ引受タルモノハ同人其
後ノ行動甚ダ良シカラザルヨリ念怒ノ餘リ虛
偽ノ申告ヲナシ以テ我官憲ニ年數ヲ懸ケタルハ
重大恐縮ニ感ズルガ故ニ直ニ控訴ヲ取下シ股
役スベキ旨申立九月二十三日控訴ヲ取下ゲ二年
ノ懲役三百フソノ罰金ニ刑ノ確定ヲ見目下股
役中ニ有之又的野哲四郎ハ阿片揚陸ノ共
助ヲ否認シ却テ該阿片サヘナカリセハ經驗ニ富
イ自己ニ容易ニ見レシメノ輸入ヲナシ得タルナリト
主張シ控訴取下ノ意思ナク當館ノ取調ニ
對シテモ終始言ヲ構ヘテ事實ヲ隱蔽ヲ計
リ居リ候處同人ハ數年前阿片法違反ニテ
當地ニ於テ二年一日ノ懲役三百フソノ罰金

ニ處セシタルトモ有之且本人之ヲ否認スル佐藤
家養子佐藤哲四郎ト稱シタルトモ有之趣ニシ
テ誠ニ好シカラン人物ニ付當地法廷審理ノ機
様ヲ見當館ニ於テ元相中平段ヲ講ズベク候ヘ
共同人足徳一即將來ノ行動ニ嚴ニ御監
視相成候様致度此段申進候

敬 具

在マニラ總領事館

大 次 官 臣
亞 細 亞
歐 米
通 商
條 約
情 報
人 事
會 計
文 書
平和條約

237
7

公 信 案

文書課長

大正拾年十月五日 接受

(甲 號 用 紙)

文書課發送

大正拾年十月五日 發送済

淨書

校 正

原 稿

(淨書)

主 管 通商局長

主 任

(野)

(起草大正十年十月四日 廿四日)

通 監

機 密

普通 第三十七號

大正十年十月五日

日 附

附 屬 書 一

通

受 信 司法省
人 名 林刑事局長

發 信
人 名 古谷通商局長心得

件 名 阿片密輸出圖スル件

級 込 名 密輸雜件

本件ニ關シ九月六日附刑事第五四七二号貴信ヲ以テ仰

来示ノ趣ハ其節在マニラ末栖總領事ニ及リテ

機 密 處 命般右ニ關シ今般同總領事ヨリ別紙

公 信 案

外 務 省

寫ノ通りニ事有之房ニ付右迄ニ及而送附候条委曲右

ニテ仰リ知相成候苗の野德一即將來ノ行動監視方ニ

關シテハ可然ニ事相預度此段申進房也

別紙

十月十日附マニラ末栖公署ニ送附
寫 送 附 ノ 事